

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

568-319

事務事業名	特定環境保全公共下水道(飯田処理区山本地区)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	19予算額(千円)
	部等名	水道環境部	課等名	下水道課		12	2	1	3	1	99
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目						
施策	45 居住基盤の向上										
実施区分	継続	会計	下水道	環境調整会議	済み	関連計画 条例等	三遠南信自動車道、飯田市下水道整備基本計画、下水道法、都市計画法、水質汚濁防止法、下水道条例、負担金条例				
		事業期間	14	年度～	23		年度				

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	・特環山本地区排水処理区域内の市民及び事業所が対象です。	山本地区計画処理戸数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			0	1200			
		山本地区計画処理人口	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			0	3600			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・市民皆水洗化を推進するために、特環下水道山本地区の下水道施設を整備し普及率を高めます。	山本地区下水道普及率 %	18目標	0	最終目標	100	23
			18実績	0	19目標	0	↑
		23目標	100	23実績	100	最終目標達成年度	
		山本地区水洗化率 %	18目標	0	最終目標	100	23
18実績			0	19目標	0	↑	
23目標			100	23実績	100	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市下水道整備基本計画に基づき、特定環境保全公共下水道山本地区の下水道施設整備(管渠)を行う事業です。 ・計画区域内人口 3,600人 ・計画区域面積 81ha ・管渠延長 約37,400m	18年度の実績  19年度計画	・下水道管路築造工事 L=9,595mの施工致しました。 ・工事説明会に於いて水洗化の必要性を説明し、早期の水洗化を促進致します。  ・伊賀良接続管工事(L=1,400m)を進め供用開始をめざします。 ・下水道管築造工事(L=7,257m)を進め、下水道普及率を高めます。 ・工事説明会に於いて水洗化の必要性を説明し、早期の水洗化を促進致します。	下水道管路:m 説明会:回数
			下水道管路:m 説明会:回数	L=8,657m 25回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	130,000	200,000
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	525,400	655,000
	その他		
一般財源	36,600	50,500	
事業費計(A)	692,000	905,500	
人件費	正規職員所要時間	18年度 7,000	19年度 7,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	25,032	25,032
	トータルコストA+B	717,032	930,532

特定財源内訳や補足事項	汚水処理施設交付金(国1/2) 下水道事業債(補助残90%、非補助95%)
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	水洗化率(4手法全体) %	現状値	78.8	19実績	81.5
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・市民からの生活環境の改善要望が強かったため、市民皆水洗化に向け事業を開始致しました。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・全体計画見直しの結果処理場建設をとりやめ、公共下水道の松尾処理場で汚水処理を致します。          ・三遠南信道路築造や宅地開発等により、区域内の土地利用が変化しています。          ・集合処理区と個別処理区との経済比較検討など事業再評価の実施を致します。(補助採択要件:国土交通省へ提出)          ・補助金事業が交付金事業になりました。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・地元市民は早急な管渠布設を切望しています。</p>
--	--	--

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)          水洗化により快適な生活環境が整えられると同時に、河川など公共水域の水質が改善されます。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地がありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)          市全体の水洗化率は78.8%であり、今後更に水洗化を進める必要があります。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由)          エリア内の計画策定後の開発等による宅地事情の変化に伴い、土地利用計画策定時に区域の見直しの必要があります。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)          市民皆水洗化が出来なくなり、河川や水路の水質が改善されず、環境に影響があります。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)          この事業は水環境を改善して、環境に配慮した都市の実現のため市民皆水洗化を図るものです。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>統合可能</b> (類似事業名、理由)          統合は施設更新時や土地利用の変化により、検討する必要があります。地形的に自然流下の困難な場合は、合併浄化槽により整備します。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)          市の基本計画で掲げる市民皆水洗化事業の一環として、市が行う事業です。</p>		<p>効率性評価          成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>可能</b> (その理由)          汚泥処理を田の処理場と一体化することにより、事業の効率化とコストの削減を図り、事業費を削減します。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)          下水道事業の受益者負担制度(都市計画法で「負担の公平」の原則に基づき認められています)を導入しています。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <b>23</b></p> <p style="color: green; font-weight: bold;">具体化</p>	<p style="text-align: center;">何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>19年度飯田国道事務所より伊賀良幹線への接続管を、R153に布設する占用許可があり次第、接続管工事を行い経費の節減を図る。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法          下水道工事が集中するため、交通止め等の調整が難しい。</p>
--	---

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><b>必要性がある</b></p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>	<p>2- 施設などを新設、改造、廃止するとき</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	<p>・公共工事における環境配慮設計として、ISO公共工事環境配慮評価シートによる竣工時配慮率の目標値を80%として取り組みました。</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	